

令和7年平和祈念滋賀県戦没者追悼式 滋賀県議会議長 追悼の辞

本日ここに、御遺族をはじめ関係者多数の御参列のもと、平和祈念滋賀県戦没者追悼式が厳粛に執り行われるにあたり、滋賀県議会を代表いたしまして、戦没者の御霊に謹んで追悼の言葉を捧げます。

先の大戦において、300万を超える方々が祖国の安寧と発展を思い、家族の身を案じつつ戦場に散り、戦禍に倒れ、あるいは戦後、遠い異郷の地でお亡くなりになりました。ここに戦没者の方々に思いを馳せ、心から御冥福をお祈り申し上げます。

そして、今を生きる私どもが享受している平和と繁栄が、祖国日本のために心ならずも命を落とされた方々の犠牲の上に築かれていることに思いを巡らし、敬意と哀悼の誠を捧げたいと存じます。

戦後、我が国は、国民のたゆまぬ努力により目覚ましい成長を遂げて参りました。また、本県も、経済、福祉、環境をはじめ、様々な分野で、活力溢れる県として着実な発展を見せております。

これもひとえに、尊い命を捧げられました御霊の御加護と、幾多の悲しみや困難を乗り越えてこられた御遺族の皆様をはじめとする先人が、戦争のない平和な世の中を後世に築こうという強い願いを持ち、多大な御尽力をいただいた賜物であると存じます。

先の大戦が終結してから80年の年月が経過しましたが、今もなお、ロシアによるウクライナ侵攻など、世界各地で戦火の報が止むことはありません。

また、我が国では、時の経過とともに戦争を体験された方々は御高齢となり、戦争を経験していない世代が多くを占めるようになりました。このような中、歴史の教訓を深く胸に刻み、戦争の悲惨さと平和の尊さを、次の世代に正しく、強い気持ちを持って伝えていくこと、そして戦争の惨禍が二度と繰り返されぬよう、そのための努力を絶え間なく積み重ねていくことが、今を生きる私たちの使命であります。

私たちは、ここに改めて、世界の恒久平和の実現と、我が国、そしてふるさと滋賀のより一層の発展に向けて全力を傾注することを固くお誓い申し上げる次第でございます。

結びに、戦没者の方々の御冥福を心からお祈り申し上げますとともに、御遺族の皆様のお多幸と御健勝を心から御祈念申し上げまして、追悼の言葉といたします。

令和7年8月30日

滋賀県議会議長 目片 信悟